

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2023年9月5日発行 【再刊第14号】

今号の話題

- 市民夏まつりがフィナーレ
納涼盆踊りで終幕
- 美笛キャンプ場オリジナル
ステッカーが好評
- 道の駅サーモンパーク千歳
新装開業迎える



中心市街地を盛り上げた盆踊り

千歳市民夏まつり 有終の美飾る

納涼盆踊り大会で市内中心部に活気
観光連盟会長賞に日本航空大学校北海道

市民納涼盆踊りが8月17、18日、グリーンベルトで開かれ、浴衣姿の市民らが北海道や千歳音頭に合わせて踊り、約1カ月にわたる千歳市民夏まつりを締めくくりました。

主催の千歳市民夏まつり実行委員会には観光連盟も加盟し、開催に協力しています。

やぐらの上では民謡団体が太鼓と尺八を奏でて、生の歌謡で会場を盛り上げました。夜空に



日本航空大学校北海道に観光連盟会長賞を贈呈

響く北海盆唄や千歳音頭の唄と演奏は、北国ならではの夏の風情をかき立てました。

18日の市民納涼盆踊り大会では、観光連盟会長の小田賢一も審査員として参加。市役所、自衛隊、銀行などの民間企業でつくる21チームが出場しました。浴衣や法被のほか、アニメキャラクターなど思い思いの仮装をする市民も。踊りながら市内中心部を練り歩きました。レバンガ北海道公式チアダンスチームのパシスタスピリッツ、コンサドーレ札幌のチアダンスチームコンサドルズ、札幌を拠点に活動するシークレット歌劇団0931のメンバーも花を添え、会場や沿道には多くの市民が集い、盆踊りの風情を味わいつつ、過ぎゆく夏を惜しみました。

厳正な審査の結果、千歳市長賞には北栄南町内会、千歳観光連盟会長賞には日本航空大学校北海道が選ばれました。

障がい者、高齢者の旅行をサポート 北海道ユニバーサル観光センター設置 ハンデあっても旅行楽しんで 日本UD観光協会



障害の有無や年齢に関わらず、誰もが旅行を楽しめるようサポートしてもらえます

日本UD観光協会は7月下旬、新千歳空港国内線ターミナルビル1階に北海道ユニバーサル観光センターを設けました。9月24日までの開設期間中、高齢者や障害者の快適な旅行をサポートするものです。センターでは▼道内観光地や宿泊施設

のバリアフリー情報▼ユニバーサル・デザイン対応レンタカーや福祉タクシーなど乗り物の情報▼車いす対応や、オストメイト対応などトイレの情報▼観光を介助して欲しい時の情報など、問い合わせに対応します。

車いすやベビーカーの有償レンタル（1日1000円）で実施中です。いずれもタイプによって料金は異なり、同センターでの貸し出し・返却です。

観光センターは、開設期間中は無休で、営業時間は午前9時半～午後4時半。

観光連盟はユニバーサルツーリズムを推進し、年齢や障害の有無に関係なく、誰もが快適に旅行を楽しめる環境づくりに力を入れており、同センター開設に際しても千歳市社会福祉協議会などとともに協力しています。今後も観光のバリアフリー化を推進していきます。

シマエナガモチーフにステッカー

観光連盟管理、美笛キャンプ場オリジナル



好評の美笛キャンプ場オリジナルステッカー

観光連盟は、指定

管理者として管理運営する美笛キャンプ場で、オリジナルステッカーを販売しています。全4種類でいずれもエゾシカの角、雪の妖精と呼ばれるシマエナガ、支笏湖周辺の山々、巨木の森に近いだけに木の年輪をデザイン。どれも支笏湖らしさ

を強調した内容です。

特にシマエナガは、冬のふわふわの白い羽毛に包まれたかわいらしい姿から、近年「雪の妖精」として大人気。写真集やぬいぐるみなどのグッズが好評です。

キャンプの思い出にしておくと、観光連盟職員がデザインを考案。直径8センチの丸形、縦5・5センチ×横15・5センチの長方形の2種類です。価格はいずれも税込み700円。7月11日の発売以来、車などに貼れるとあって好評を頂いています。

北海道に生息し、冬に注目されがちなシマエナガですが、実は渡り鳥ではなく、一年中道内で見られる「留鳥」です。美笛キャンプ場でも探してみてくださいね。

美笛キャンプ場のチェックイン時間は午前11時から午後7時、チェックアウトは午前7時～同10時。秋のアウトドアシーズンにぜひご利用ください。



ヒメマス釣果 前年比5倍

12万4511匹

ニューサンロード 大にぎわい
夏まつりイベント多数



多くのイベントが会場を盛り上げました

多くの釣果に恵まれた今期の支笏湖チップ

6月から始まった支笏湖チップの解禁期間が8月31日で終了しました。千歳市と支笏湖漁業協同組合がまとめた3か月間の釣果は、2万4769匹だった前年同期比5倍の12万4511匹と、不漁と呼ばれた昨年から一転して大幅に釣獲数を伸ばしました。

全国屈指の美しい水で育まれた支笏湖チップは、千歳を代表する味覚のひとつで、支笏湖の重要な観光資源です。今期の釣果の内訳

ニューサンロードまつりが8月6日、同商店街内で開かれました。飲食やステージイベントが繰り広げられ、会場を大いに盛り上げました。

ニューサンロード商店街振興組合の主催。同会の斉藤元彦理事長は観光連盟の副会長も務めています。

特設ステージでは千産千唱アイドル「小娘（シャオニャン）」が新曲を披露するなど、集まった

は、体長21〜25センチほどの3年魚、4年魚が中心とのこと。解禁直後の6月には30センチ程度の5年魚もわずかながら釣れたとのことです。低い水温を好む支笏湖チップ。今年は高気温に伴う水温の上昇もあつてか、7月以降の釣果は振るわなかつたようです。

塩焼き、刺身、フライ、天ぷらとさまざまな食べ方で楽しませてくれる支笏湖チップ。来年の豊漁も期待したいところです。

ファンが大盛り上がり。魅惑的なベリーダンスや千歳北陽高校吹奏楽局による演奏も披露。筋肉隆々のマッチョな2人が登壇してのイベントも注目を集めました。

途中雨が降る場面もありましたが、来場者は飲食を楽しみながら商店街の夏祭りを満喫。博信堂でもアマチュアミュージシャンによるライブが催されました。

千歳観光物産サテライト【ミル】

物産企画フェア

本州人気フェア

大好評 開催中!!

千歳市千代田町7丁目 1789-3
千歳ステーションプラザ1階

詳しくはこちら



新千歳空港

寿インター駐車場

近くて便利! 空港まで7分 安くても安心! 1日 600円

新千歳空港 寿インター駐車場

道の駅リニューアルオープン！！

初日からずらり行列 集客に期待高まる

道の駅サーモンパーク千歳が8月26日にグランドオープンしました。千歳川を遡上する千歳を代表する鮭をテーマにしたグルメを提供する店が並び、農産物の直売所もオープンするなど、旅行者のみならず千歳市民も楽しめそうです。

「北海道が誇る『サーモン』の魅力や北海道の食文化・観光資源を日本・世界へ発信する



オープンを祝してテープカット



施設内は魅力ある飲食店や農産物直売所が来場者を引きつけました

施設」とうたい、約5か月ぶりに新装開業。指定管理者はTTC（静岡県）です。オープンを記念し、横田隆一千歳市長をはじめ観光連盟会長の小田賢一らがテープカット。開店前から並んだ約300人が続々と入場しました。

施設内は海鮮、ラーメン、スイーツ、道産食材のグリルといった北海道の魅力を味わえる6飲食店が入居。直売所では千歳産のトマトやズッキーニといった夏野菜など新鮮野菜がずらり。土産物コーナーも千歳の事業者の製造したハムやワイン、菓子などが並び、来場者が買い物を楽しみました。

イベント情報

▼インディアン水車まつり（9月17、18日、道の駅サーモンパーク千歳）千歳川の秋の風物詩「インディアン水車」とサケをテーマにした恒例イベント。サケ鍋やイクラ弁当の販売のほか、釣り堀やステージイベントも催します。同まつり実行委主催。千歳観光連盟も後援しています。

▼リサイクルフェスティバル（9月30日、グリーンベルト）ちとせ環境と緑の財団主催。リサイクル自転車の無料抽選会、野菜市、フリーマーケットを開催。小型家電、古衣料の回収もあります。

▼支笏湖紅葉まつり（10月15日、支笏湖温泉湖畔園地）秋を迎えた支笏湖で例年であれば支笏湖チップとキノコを使った「秋の味覚汁」販売ほか、協賛イベントも。

※職員紹介は休載します。

編集後記

北国らしからぬ暑さの八月も過ぎて、朝晩は少し肌寒くなりました。それでも日中の最高気温は高く、平年より暖かい九月になりそうです。

夏休みを利用して、農村地域をドライブしました。途中、直売所に立ち寄り、トウモロコシを6本購入。茹でる前に生で一粒食べたところ、果物の域に達するほどの甘さに驚きました。熱を通さなくても十分に美味しいですが、茹でて頂くと絶品です。焼くと絶妙なこげの香ばしさがまた格別でした。

車で少し走らせると美味しい野菜に出会えるまち。千歳の環境に慣れていた筆者が、改めて農家の皆さんの努力と千歳産の魅力を再認識した機会でした。（ひ）